

## 悪い鬼をやっつけろ！みんなで鬼退治☆

2月2日、ともしび保育園では、節分の行事として豆まきをしました(^^) 力強くどンドン鬼を外に追い出していく子、怖くて泣いてしまう子、色んな反応がありましたが、ともしび保育園の鬼退治は無事成功しました(\*^\_^\*)



小さいクラスにとってはものすごく怖い！先生にガードしてもらいます(>\_<)



月齢が上がるほど、怖さよりも正義感と使命感が増すようです！果敢に鬼に挑みます(^ω^) 「鬼は外！福は内！」



力強くまかれた豆が鬼を命中！本気で痛い(笑)！ダメージ大！



まいった～

とうとう追い出され、さっさと消えていった鬼たちでした(;^ω^)無事、鬼は外へ♪

## 職員インタビューコーナー

### 介護士になろうと思ったきっかけ

高校3年生の進路相談の時、勉強がそれほど好きだったわけではなかったことから、大学へ進むという選択肢はなく、看護師という仕事に関心を抱いていました。相談した担任の先生から、看護師になるには膨大な量の勉強が必要であり、取りやすい資格ではないことを教わり、方向を変えてみては？と提案されました。その中で、働きながら資格取得もできるし給与も得られる介護職はどうだろう、と聞いて、高校卒業後は早く働こうと思っていた私の思いにもマッチしたので高校卒業後の就職先は福祉関連に決めて入社し、転職も経験しながら今に至っています。

### 実際に働いてみて感じたこと

18歳で入社した職場は、新卒者は訪問ヘルパーとしてスタートすることになっていました。清掃の苦手な方のお部屋の清掃ばかりやっているような日々が続き、「何のためにこの仕事に進んだのだろう。身体介助をさせてもらえない」というギャップに苦しみ、数ヶ月で退職しました。それから、これまでできなかった身体介助や夜勤をやりたいという思いから24時間稼働している特養に入職しました。いざ入社するとヘルパー2級は取得していたものの仕事としては身体介助をした経験がなかったのでなかなかうまく介助できませんでした。認知症の症状が最も重い方々のユニットだったこともあり、苦戦はしましたね。

### やりがいを感じる時

「あなたが居ると安心」「相談して良かった。ありがとう」など、言葉にして伝えてもらえることがすごく嬉しいです。また、入居当初は職員にあまり関わってほしくないという気持ちが強かった入居者様が、こちらの声掛けに段々と応えて笑顔が増え、変化が見える時も励みになります。



飛鳥ともしび苑 生活支援ハウス 大槻望さん

### 仕事をする上で大切にしていること

自分の体調や気分が顔や仕草に出ないように意識していますし、出来る限り笑顔で接するように心がけています。気を付けていても、相手にとっては「あれ、いつもと違う」ということもあるのかもしれませんが、私自身はこの仕事が好きなお仕事もあり、いつも変わらず、明るい対応を大切にしています。

### 休日の過ごし方、ストレス対処

休日は、下の子どもが産まれるまでは仲良しのママ友とランチしながらお喋りをして、という過ごし方が多かったです。今は、平日のお休みにスーパーで爆買いすることが多いです(^\_^) ストレス対処は、気の合う友人と食べて飲んでワイワイ賑やかに楽しむことです。これがあるからこそ、仕事への活力にも繋がっています！

### 未来の自分

この法人に来る前、特養に3年間勤め、飛鳥ともしび苑入職後はデイサービスと支援ハウスを経験してきました。何年も先になるかもしれませんが、子どもの手が離れたらいずれはまた特養で仕事がしたいと思っています。大変なこともありましたが、一番やりがいを感じています。今は日々の業務と丁寧に向き合い、いつか特養の職員として力を発揮できるように努めていきたいと思っています。